

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・応募前職場見学の推奨。求人者に対しては見学の受け入れを、また応募を迷う求職者等に対しては見学の実施を積極的に勧奨し、ミスマッチの防止と応募の促進を図りました。
- ・応募支援サービス提供の徹底。応募書類の書き方や面接に不安がないかを能動的に声かけし、応募書類の添削、時間的余裕がある方には「お預かりサービス（一旦書類を預かり、複数人で検討を行う）」による助言、模擬面接などのサービスについても積極的に案内・実施することで、紹介成功率の向上を図りました。
- ・事業所訪問の推進と訪問記録の活用。紹介窓口職員・相談員の事業所訪問を計画的に実施し、訪問後に作成した企業情報を、企業情報ステーションへの掲示や求職者への情報提供等に積極的に活用することで、充足促進や職員の資質向上を図りました。
- ・ハローワークサービスの周知と利用促進。管内市町の協力によるハローワーク利用案内リーフレットの全戸配布、雇用保険部門での求職者・求人者向けハローワークサービス案内チラシの配布等により、新規求職・求人の掘り起こしを図りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・職員間でのノウハウの標準化とスキル向上。上記お預かりサービスや模擬面接などについて、複数人で行うことによりお互いに見かた、やり方、捉え方などを共有し、双方のスキルアップを図りました。
- ・各種研修の実施。課題解決支援サービスのノウハウ強化に向けて事例検討を含むキャリアコンサルタント研修を実施する他、所内・局内での各種研修を積極的に実施・受講させ、職員の知識向上やスキルアップを支援しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・雇用保険受給者に対する早期マッチング等の実施。受給者の早期再就職促進のため、資格決定手続き直後の早期マッチングと、初回認定日までに2回以上の相談の実施に取り組みました。また、給付制限中にも積極的なマッチングを実施しました。
- ・JKMプロジェクトの強化。求人充足支援会議を職業紹介担当者が輪番で参加する形に変更し、求職者目線での求人票の内容充実支援や条件緩和指導、マッチングを実施することで、充足の可能性が高い求人ばかりではなく、幅広く充足が図られるよう対策を強化しました。

・ミニ面接会・説明会の積極的・能動的な実施。求人への応募の可能性を広げるため、ミニ面接会・説明会を計画的に開催しました。特に多数求人事業所や新規開業事業所などには能動的に声かけし、必要に応じて誘致した自治体とも連携するなど、ミニ面接会・説明会を積極的に実施しました。

・オンラインサービスの利用促進。オンライン相談に係る規約や取扱方法等を整備しオンライン相談の環境を整備するとともに、求職者マイページ促進のため資料作成・検討会・研修会を実施しました。さらに、求職者の求人検索をアシストするため、所のホームページ上に「かんたん検索」サービスページを設定し周知しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・求職者担当者制の拡大・強化。職員等一人あたりの人数の拡大、統括官等によるマネジメントやケース会議等の実施により、支援の充実を図ると同時に、職員等のスキルアップを図ります。

・HAM プロジェクトの省力化。雇用保険受給者に対する支給終了までの紹介率アップを図る HAM プロジェクトについて、手続き方法を簡略化しつつ、効果的に取り組みを継続します。

・登録求職者の活性化のための取組を実施。ハローワークに求職登録した後、求職活動に消極的な求職者に対して、状況確認や情報提供など、ハローワークから能動的な働きかけを実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

・有効求人数は増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症感染拡大の前の状況に戻る一方、有効求職者数は横ばいが続き、管内の雇用情勢は人手不足感が高まっているため、求職者の掘り起こしや、求人充足支援対策がますます重要となっています。

・新規求職者に占める 45 歳未満の割合は減少傾向が続き 4 割近くまで低下しています。一方 55 歳以上が約 4 割、65 歳以上が 2 割近くまで増加しており、求職者の高齢化が顕著化しています。シニア向けの支援サービスを継続・充実するとともに、オンラインサービスの活用促進等による若年求職者の取り込みの強化が課題です。

・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、面接会その他イベント等での人数制限などの制約や開催見送りなど、業務推進に大きな影響を受けました。

・大規模なものではないが、新型コロナウイルス感染症及びウクライナ侵攻に伴う部品不足や原材料高等による生産制限や事業所閉鎖での求人・求職の変化がありました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	正社員に結びつ いた就職氷河期世代 の件数	正社員に結びつ いたフリーター等 の件数		
令和4年度実績	1,004	950	170	93.5	96.8	23	40		
令和4年度目標	870	815	205	90.0	90.0	33	38		
目標達成率	115	116	82	-	-	69	105		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率